

病虫害発生予察注意報 第1号

病虫害名：斑点米の原因となるカメムシ類

1 発生予想 斑点米の原因となるカメムシ類の発生が多く、斑点米が多発する恐れがある。

2 対象地域 県下全域

3 根拠

- 予察灯に誘殺される斑点米の原因となるカメムシ類(以下、斑点米カメムシ類)の内、アカヒゲホソミドリカスミカメの7月1半旬までの誘殺数が平年に比べ、いずれの調査地点でも多かった(図1)。
- 6月下旬の畦畔のすくい取り(ネット20回振)調査では、斑点米カメムシ類の捕獲地点率が東信及び北信で前年より高く、捕獲数が東信、南信、北信で前年よりも多かった。(表1)。
- 7月上旬の本田のすくい取り(ネット20回振)調査では、東信、南信、中信で平年に比べて捕獲地点率が高く、捕獲数も多かった。(表2)。

4 防除対策と留意点について

- 出穂前後に畦畔の草刈りを行うと、畦畔雑草に生息する斑点米カメムシ類を水田内に追い込む恐れがあるので、出穂2週間前までに行う。また、登熟期間中(特に乳熟～糊熟期)も同様であり、出来るだけ控えた方がよい。実施する場合には薬剤防除の直前に行う。
- 斑点米カメムシ類は、水田畦畔の雑草管理状況や周辺環境条件など地域によって発生量が異なる。穂前期に水田内ですくい取りを行うなどし、発生量及び発生種の把握に努め、薬剤選択等防除の参考とする。
- 斑点米カメムシ類は、主に出穂以降に水田内に侵入するため、一般に出穂の早い品種(早生種及び酒米等)で発生が多く、被害を受けやすくなる。
- 防除薬剤は、「2019年長野県農作物病虫害・雑草防除基準」に基づき選定する。また、散布に際しては、農薬使用基準を遵守し、周辺への飛散防止に努める。特に、養蜂が行われている地域で殺虫剤を散布する場合には、養蜂業者への情報提供を行うとともに、「2019年長野県農作物病虫害・雑草防除基準」の特別指導事項等に基づきミツバチへの危被害防止対策に努める。
- 薬剤散布に際しては、水稻の生育状況を確認し適期防除に努める。本田防除で粉剤や乳剤を使用する場合は出穂10日後に実施し、発生の多い地域では、さらに7～10日後(出穂17～20日後)に追加防除を実施する。粒剤を使用する場合には、出穂期に防除をするがアカヒメヘリカメムシ、クモヘリカメムシ等の中～大型のカメムシには効果が低いので発生種を確認のうえ使用する。

表1 斑点米カメムシ類の畦畔すくい取り(ネット20回振)による捕獲状況(6月下旬)

調査地点数	捕獲地点率(%)		1地点当り捕獲数					斑点米カメムシ類の捕獲数(捕獲割合(%))					
	本年	前年	本年			前年	計	アカヒゲホソミドリ	アカスミカメ	カスミカメ	トゲシラホシカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	ホソハリカメムシ
			平均	最多	最小			ト	カ	カ	シ	シ	シ
東信	15	40.0	13.3	2.1	17	0	0.3	32	30	0	1	1	0
南信	18	55.6	73.7	9.8	73	0	4.9	177	27	140	1	3	6
中信	20	80.0	85.0	10.6	17	0	12.8	211	57	144	3	0	7
北信	17	70.6	29.4	2.9	10	0	0.4	49	44	5	0	0	0
計	70	62.9	53.5	6.7			5.1	469(100%)	158(34%)	289(62%)	5(1%)	4(1%)	13(3%)

注1) 調査方法：畦畔においてすくい取り(ネットを20回振)で捕獲された斑点米カメムシ類(成虫及び幼虫)を調査

注2) 捕獲地点率(%)：調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

注3) 1地点当り捕獲数：捕獲数計(成虫数+幼虫数)÷調査地点数

表2 斑点米カメムシ類の本田すくい取り（ネット20回振）による捕獲状況（7月上旬）

調査地点数	捕獲地点率(%)		1地点当り捕獲数				斑点米カメムシ類の捕獲数(捕獲割合(%))				
	本年	平年	本年			平年	計	アカヒゲホソミドリカスミカメ		ホリハラカメムシ	
			平均	最多	最小						
東信	15	26.7	20.7	0.9	11	0	0.5	14	14	0	0
南信	19	40.0	17.4	0.7	4	0	0.3	13	10	1	2
中信	20	45.0	34.0	3.2	23	0	0.8	63	62	0	1
北信	17	29.4	31.3	1.1	12	0	1.3	18	18	0	0
計	71	36.1	25.7	1.5			0.8	108(100%)	104(96%)	1(1%)	3(3%)

注1) 調査方法：本田内においてすくい取り（ネットを20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫及び幼虫）を調査した。

注2) 平年は平成21年～30年(10年間)の平均値

注3) 捕獲地点率(%)：調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

注4) 1地点当り捕獲数：捕獲数計（成虫数+幼虫数）÷調査地点数

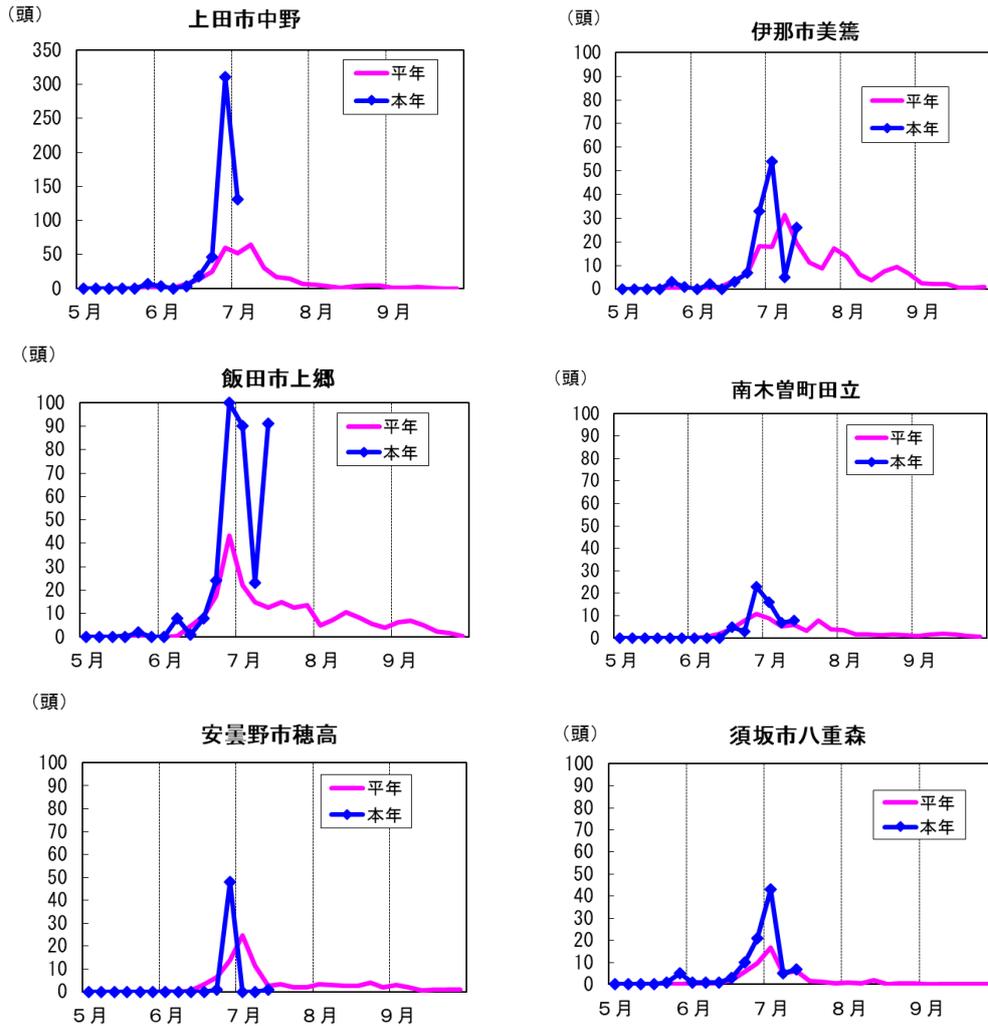


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺消長

注1) 平年は平成21～30年(10年間)の平均値、但し飯田市は、平成24年～30年(7年間)の平均値。



図2 アカヒゲホソミドリカスミカメ

長野県病害虫防除所
丸山秀樹 (所長) 若林秀忠 (担当)
TEL : 026-248-6471 (直通)
FAX : 026-248-6473
E-mail bojo@pref.nagano.lg.jp